公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

２０２３年６月通常総会議事録

日　時：２０２３年6月１３日（火）　１３:００～１６：１５
場　所：東京都中央区　ＴＫＰ銀座ビジネスセンター　５Ａ
出席者：１頁参照

１．開会

司会の竹村理事より開会が宣言された。

２．本通常総会概要説明等

総会の前に工藤修二氏（１９７０年代の初めから飛び続け、２００９年から３期にわたりＪＨＦ理事も務めた）と文字英彰氏（１９９０年代からパラグライダーを始められ普及振興を担当、賛助会員、検定員等でもご協力をいただいた）に対して黙祷を捧げた。

日本学生フライヤー連盟の櫻井悠馬理事長が出席出来ないため、報告文書を預かり司会が読み上げた。新型コロナウイルス感染症の影響があったこと、大会についての協力要望があった。

３．定数の確認・議事録作成人の指名

司会より、議事進行上の注意事項と、会議運営の説明が行われた後、本総会の出欠確認をした。
出席確認：
出席正会員　　２９名（内会場出席　１８、バーチャル出席　１１（含議決権行使５））、
議決権行使　１８名
合計出席者　　４７名　　総会員数　　４７名
総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。
議事録作成人の指名：　事務局長　桜井加代子
議事録署名人：　出席理事・監事
定款により安田会長が議長となった。

４．総会の目的事項

報告事項１　２０２２年度事業報告について

安田会長から、２０２２年度は新型コロナウイルス感染症の流行も治まりつつあり、ハンググライダー、パラグライダーとも日本選手権等の競技を開催。会議の活発化が出来た。残念ながら重大事故が発生したこと、安全啓蒙を進めていくこと等、概要報告の後に質疑に入った。

神奈川県連、岡山県連から教員検定員研修検定会、上級タンデム検定会についての質問があった。
教員・スクール事業委員会の山口担当理事から、委員会でも検定会を安定したものするためにも日々議論をしている旨の説明があり協力をお願いした。

岡山県連：参加している正会員に改善する意欲が見られない。リモート会議で経費削減は必要だが、勝手に理事会で進められる危険性がある。メーリングリストを作って欲しい。

議長（安田会長）：個別の問題等はＪＨＦ事務局にメールで出して欲しい。議事進行を進める。

報告事項２　２０２２年度決算報告・監査報告について

香川県連：学生連盟の３０万円の内訳は？
議長（安田会長）：３０万円の枠があり、それ以外で必要な場合は要望を受けて理事会で審議する。毎年報告を受けている。
静岡県連：Ｊ２補助金は何に使っているのか？
ＰＧ競技委員会　村上委員：役員交通費とトラッカー利用料になる。

決議事項１　貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

大森監事による監査報告の後、報告事項２の中で説明された、貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書および財産目録の承認について議決する。

決議事項１について採決し
【賛成：４７（会場出席　１８、オンライン出席１１、議決権行使１８）
反対：０　棄権：０】で承認された。

報告事項３　２０２３年度事業計画について

安田会長から２０２３年度事業計画について概要説明を行い、質疑に入った。

福岡県連:教員･助教員更新講習会は、九州では会員が減っているためウエブ開催が出来ないか。
教員･スクール事業委員会　北野委員長:意見了承。勉強会、講習会はウエブでもやっていきたい。教員養成課程は作っていく予定。
岡山県連:オンラインだけで開催出来ないか。
教員･スクール事業委員会　北野委員長:オンラインで出来ることはやるが実技は出来ない。
山口理事：人材不足、指導者不足もあるが、全国には能力の高い教員がいる。都道府県でそういう方がＪＨＦに協力いただき、地域のために活性化するよう願う。

報告事項４　２０２３年度収支予算について

神奈川県連:世界選手権支出が21年決算より倍以上になっている。
竹村理事:21年はコロナ関連で大会中止や延期があった。
茨城県連:X-Alps の予算について説明をお願いしたい。
山口理事:今回出場の江本チームに50万円支出を理事会で決議した。国内でも取材をうけ放映され、パラグライダーの普及振興に大きく貢献している。JHFロゴマークをハーネスに入れている。
新潟県連:クラウドファンディングの資金調達をJHFもレポート等で応援をしたらどうか。
山口理事:クラウドファンディングではなく、大会後に報告をもらう、ホームページに掲載する等で応援したい。
岡山県連:これはJHFが拠出すべきものか？他の正会員はどう思うか？

茨城県連:サポートには問題ない。私も世界選手権に行く際に助成金をいただいている。ハング、パラの知名度を上げて、報告もしてもらう。
岡山県連：中四国は大多数が一般フライヤーで競技には出ていない。ＪＨＦの利点は第三者賠償責任保険だけ。保険代が高くなり会費値上げになった。広報活動をするのであれば体験会等身近な人を対象にしたらどうか。
茨城県連：世界選手権やX-Alps等での海外の経験はフィードバックしている。トップ選手を育てるのも大切であり、若いハンググライダー選手、学生も増え活かされている部分もある。
大分県連：テレビの影響は大きい。テレビやＳＮＳを利用することも大切である。

決議事項２　ＪＨＦ会員会費規約の改正について

小林副会長から、ＪＨＦ会員会費規約の改正についての主旨と変更点の説明、制度委員会・中瀬委員長より規約改正が決まったら、会員会費規程、入会および退会規程も改正になる説明があり質疑に入った。

神奈川県連：規約の名称をＪＨＦにしている意味は？
制度委員会　中瀬委員長：他の規約等との整合性を取った。
議長(安田会長)：規約が承認された場合は、事務局で準備をして２０２４年１月１日から発効予定となる。

決議事項２について採決し
【賛成：４７（会場出席　１８、オンライン出席　１１、議決権行使　１８）
反対：０　棄権：０】で承認された。

決議事項３　ＪＨＦ役員選任について

役員選任実行委員会　鈴木委員長より役員選任の説明があり開票作業に入る。

役員選任実行委員会　鈴木委員長：開票作業が終わり、投票数が４４票だが無効票が１通あり有効票が４３票、過半数は２２票である。
理事　…　芦川雄一郎　４０、竹村治雄　４０、橋田明夫　３７、濱田　革　４０、
　　安田英二郎　４０、山口隆文　３５
監事　…　岩村浩秀　４２票

決議事項３について、立候補者全員（理事６名、監事１名）信任で承認された。

…　意見交換　…
議長（安田会長）：青森県連より要望書が出ている。
青森県連：会費の値下げを要望する。他団体との会費格差をなくして欲しい。提案としては、
検定会等参加者経費、総会交通費をＪＨＦ負担はしない。世界選手権や海外参加は他の補助事業とバランスを取って欲しい。事務局は地代が安いところへ、テレワークも再考すべきである。
議長（安田会長）：値上げ以降他団体への流出は具体的には何名か？
青森県連：１０％以上移った。
新潟県連：移行してもデメリットが大きいという説明で納得してもらっている。

議長（安田会長）：教員検定員検定会はＪＨＦ負担だが、教員検定会は自己負担。総会交通費はコロナ前１百万円近かったが、２０２１年はリモート対応もあり１７万円に大幅に減った。自由討論なのでご意見お願いしたい。
岡山県連：賠償保険に入っていればＪＨＦにも他団体にも入る意味がない。
竹村理事：会費にあった会員サービスは必要。定款に定められているハング、パラの普及もあるが、国に対してどの場所でどんな人が飛んでいるか把握する役割は外せない。あくまでも保険だけではない。我々が自由に飛べなくなる可能性もあることも、皆様からも会員の方にはご説明お願いしたい。経費削減は理事会でも議論している。今回３年会費の廃止も方策であり、システム的に工数も減らせるように検討を始めている。皆様からも経費削減のアイディア等があれば連絡願う。
議長（安田会長）：自分が飛ぶことだけを考え安い方がよいという方がいるとのこと、ＪＨＦはＪＡＡを通して国に対してのハンググライダー、パラグライダーの統括団体である。これは前会長の内田さんも「空を飛ぶ自由を維持すること」が統括団体ＪＨＦの役目であると毎回言われていた。ＪＨＦには大きな使命がある。他団体はスクールの団体なので、ご理解いただきたい。
岡山県連：教員、助教員検定のレベルを上げるのであれば現教員もそのレベルに達していないといけない。現在達している方は１割か２割、その問題をどうするか。
教員・スクール事業委員会　北野委員長：現在は教員・助教員更新講習会でも技量を確認している。更新出来ずに保留の人もいる。
岡山県連：技量は必要か？
教員・スクール事業委員会：これから始める人に基礎技術をデモできる技量が必要と考えている。それが出来ない人はどうか。
議長（安田会長）：現在は青森県連の提案された問題について議論お願いしたい。
岡山県連：積み上げ方式ではなく、保険料何割か等の枠を決めることを皆で議論して欲しい。理事は自分の意志か、会員の意見を吸い上げるためか、会員とずれている。何が目的なのか。
大沢理事：ご意見があれば理事にならないと実現しないし、理事になってもなかなか実現しない。理事になってください。
新潟県連：競技参加選手のＪＨＦ負担削減提案について、削減されたら遠征が出来ない。競技人口は一般より低いのでリーグ登録を自己負担にして競技に回せればどうか。
ＰＧ競技委員会　村上委員：登録は有料で、以前２千円、現在は１大会５百円。現在は他団体からＪＨＦへ競技参加したい方が増えて、毎大会参加出来ない人もいる状況である。
山口理事：石川県連として競技選手数も増えている。大会の現状は各エリアに実行委員会をお願いして開催出来ている。世界選手権補助を減らす意見もあるが、大会を盛り上げて競技人口を増やして、世界で活躍する選手を増やしたい。
教員・スクール事業委員会　北野委員長：寄付制度を作り公益社団法人に寄付をしたらどうか。
制度委員会　中瀬委員長：公益社団法人としては、取得控除が出来る寄付金制度を始める迄の実績が必要になるが、５年間の実績を積めば認められる。
大森監事：公益法人だから許されるのではなく、個人寄付をすると例えば５千円寄付して３千円だけ所得から引かれ税金も引かれる等ふるさと納税の仕組みとは違う。飛ばなくなっても会費を払っている方々がいるので、それは仕組みを作れば出来ると思う。

（休憩）

芦川副会長：配布したＪＨＦ活動実績は２０年近く発刊出来ていなかったが、２０２２年度はＪＨＦ創設４０周年でもあり、取りまとめた。短期間で作成したことで掲載できなかったこと、抜けや訂正等もあり、ご意見ご指摘があったら事務局へ連絡願う。協力願う。行政等へ配布で必要な際は１部１千円で販売するため事務局へ連絡願う。
東京都連：ドローンについて最新の情報提供願う。
補助動力委員会　賀家委員長：国交省の集まりがあった。飛行空域と時間予約は国で管理しているが、

他の飛行物体との調整はどうするか。事務局からエリアマップの提出をお願いしているので、協力願う。第三者上空等の飛行に関する法令が改正され、ドローンを遠隔地から飛ばせて人がいない状況（上空？）は認められていたが、人がいる状況（上空？）でも予約をしてモニター飛行で飛ばせることになる。河川上空を推奨との通達だったが、ランディングやモーターパラグライダーに影響が出る。
ＰＧ競技委員会　村上委員：DIPS(Drone/UAS Information Platform System ドローン情報基盤システム）に登録されている航路は参照出来るか。競技でタスク設定に問題が出ないか。
賀家委員長：ドローン同士の衝突を避けるためで登録をすれば見られる。航空局も他の飛行隊との衝突を不安視していることもある。
村上委員：ＪＨＦとしてアプローチは可能か。
議長（安田会長）：ＪＨＦはＪＡＡを通じて国交省に働きかける。一番ドローンの影響を受けるのはＪＨＦであり、テイクオフ、ランディング、飛んでいる範囲のエリア整備をしたい。ＧＰＳ、全国エリア情報把握の協力を願う。
香川県連：活動実績に会員の年齢層もどうなっているか入れて欲しい。青森県連要望の中で、会費が７千円でどこにいくらかかっているか、予算の根拠等具体的に必要かと思う。
山形県連：DIPS にも関わるが、松本空港から長野県連に侵入路についての警告が出た。クロスカントリーの大会に影響が出るので、DIPS を含め表面化する事例を教えてもらう意見交換の場を作って欲しい。
賀家委員長：補助動力委員会の対応として、ＪＰＭＡとの情報共有、マップに関しては１つのものとして出す話をしている。参考だが、DIPS で空域管理は河川事務所が中心になっているが、河川上空を推奨で限定ではない。
山形県連：長野のニアミスや八郷盆地について聞いているが、他でもそういう事例があるか。
賀家委員長：マップを提出して国交省だけはなく、常に他の団体にもアピールしていく方がよいと思っている。理事会で考えていって欲しい。
小林副会長：福岡では米の山で管制官に入っているが、毎月ノータムを出している。航空関係は航空事務所に連絡することが早い。
兵庫県連：最近のバリオに衝突防止が付いているものが日本でも発売している。それを利用してドローン等の衝突防止にならないか。
村上委員：日本ではまだ認められていないと聞いている。
竹村理事：セールプレーンは付いている。航空管制官は情報官に聞けば分かるがドローンは違う。
議長（安田会長）：他に質問等なければ議事を終わる。

茨城県連：今回で辞められる役員の方からご挨拶をお願いしたい。

小林副会長：ＪＨＦ委員になり３０年、７０歳になったのを期に余生を過ごします。制度の件、昔の件があったら今後もご協力します。
大沢理事：９期１８年理事をやってきた。知っていることは協力出来るので、元気なうちはお付き合いさせてください。
大森監事：２期しかやっていませんが、仕事が忙しくなり１回立候補しない形にした。監事ではなくてもＪＨＦには協力していきます。税理士法人の方々からご相談があればいつでも対応します。

７．閉会

司会より閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

令和５年６月１３日

議長・理事　　安田英二郎　　印

理事　　芦川雄一郎　　印

理事　　大澤　豊　　印

理事　　小林秀彰　　印

理事　　竹村治雄　　印

理事　　橋田明夫　　印

理事　　濱田　革　　印

理事　　山口隆文　　印

監事　　岩村浩秀　　印

監事　　大森健一　　印

議事録作成人：　桜井　加代子